

# 計測検査株式会社

★学術研究、専門・技術サービス業 北九州地区 ★JR陣原駅から徒歩10分

◎住所:北九州市八幡西区陣原1-8-3 ◎設立:1974年(昭和49年)11月 ◎資本金:3,000万円 ◎正社員数:81名  
◎TEL:093-642-8231 ◎事業所:黒崎事業所・関東事業所・四日市事業所 ◎HP:http://www.keisokukensa.co.jp/

各種構造物・機械設備等の総合的設備診断を行う会社として設立。非破壊検査を主とした検査部、応力・振動測定を主とした計測部を中心に業務を行う。新幹線福岡トンネルの崩落事故をきっかけにトンネルの画像を撮影し、解析する構造調査部と金属組織や成分分析を行う技術部を加え、現在は4部門で業務を行っている。近年、交通規制を行わずに画像撮影のできる車両(MIMM)を開発、短時間で効率の良い測定を行えるようになった。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	5名	6名	7名
過去3年中途採用実績	-	-	-

  

中途採用窓口 閉鎖中	17年採用窓口 開設中	年間休日 107日	残業時間 25.0時間 (月平均)	初任給 19.0万 (大卒新卒標準)	平均年齢 35.0歳	平均勤続年数 9.0年
---------------	----------------	--------------	-------------------------	--------------------------	---------------	----------------



## ●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 社員研修の実施により、育児休業制度の周知、取得の促進に努めます。
- 授業参観・学校行事等の休暇を認めます。

## 計測検査からのメッセージ

社員一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活も充実させられる、多様な生き方ができるようワーク・ライフ・バランスの実現を目指しています。平成27年9月より時間単位の有給休暇制度を導入しました。突然の子供の病気による病院への付き添いや、学校行事・イベント事などで短時間でも家族との時間を取るために活用されています。また以前、アルバイトスタッフでご家族の事情で勤務が不可能になった方がおりましたが、在宅勤務ができるように配慮した結果、仕事を続けてもらうことができました。また、外注という仕事のスタイルも構築され社内業務の効率化ができています。

## 家族のような雰囲気があり安心して働けます



女性スタッフ  
Aさん

アットホームな雰囲気でスタッフはみんな仲が良く協力的な雰囲気です。そのような職場風土なので女性社員が育児休業や短時間勤務を取得する時でも安心して他の社員に仕事を任せることができますし、男性社員も学校行事や子供が病気の時などに積極的に有給休暇を取得しています。やりがいがあり、良い環境があるので定年まで働き続けたいと思います。

# 学校法人 久留米ゼミナール

★教育・学習支援 筑後地区 ★西鉄久留米駅 徒歩3分

◎住所:久留米市天神町2丁目5番地 ◎設立:1977年(昭和52年)6月 ◎事業所:久留米市  
◎TEL:0942-35-4970 ◎HP:http://www.kusemi.ac.jp/

大学受験予備校をはじめ、福祉医療専門学校、単位制高校留学生の日本語教育、社会人向けの英語教育、学童の英語教育といった様々な教育部門と、利用者主体の理念で運営している介護業務部門の事業にも取り組んでいる。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	0名	1名	2名
過去3年中途採用実績	8名	1名	2名

  

中途採用窓口 開設中	17年採用窓口 開設中	年間休日 105日	残業時間 2~3時間 (月平均)	初任給 20.0万	平均年齢 41.0歳	平均勤続年数 7.3年
---------------	----------------	--------------	------------------------	--------------	---------------	----------------



## ●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 子供を育てる従業員が子育てのため託児所等のサービスを利用する場合学校法人の示す条件を具備すればその費用の一部を援助します。
- 本人又は配偶者の出産祝い金を支給します。
- 3歳から小学校就学の始期に達するまでの子を養育する従業員が申し出、学校法人が特に認めた場合、育児短時間勤務(1日6時間)の措置を適用します。

## 久留米ゼミナールからのメッセージ

久留米ゼミナールは「若者達を支え、教師も共に成長していこう」を合言葉にして挑戦し続けています。少子化の影響で学生数減少が懸念されましたが、各部門が選ばれる学校を目指して工夫した結果、学生と利用者数の増加につながってきています。利用者に満足してもらえるサービスを提供するためには、まず職員のワーク・ライフ・バランスが充実していることが大事と考え子育てと仕事をどう両立するかの取組を始めました。小学校の始期までの短時間勤務を推進し子育てしやすい環境の整備を実践しています。また経済的支援として出産祝い金や6歳の誕生日まで託児所等を利用した場合の費用の一部支援といった制度も充実させています。今後もスタッフと話し合いながら良い環境づくりを目指します。